

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイSESみやもと校		2025年 11月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		利用定員に対して十分なスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		利用定員に対して基準人員を満たし、加配人員も充足している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		各フロアで活動、食事、勉強を分けて分かり易く配慮している。階段があるが、エレベーターもありどの児童も適切に利用できる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日必ず清掃、消毒を行い、清潔な環境を提供している。また心地よく過ごせるよう整理整頓、掲示の工夫をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		こどもの状況に応じて場所の提供をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		始業・終業時に必ずミーティングを行い目標・振り返り等ができるよう、場を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年に1回保護者による事業所評価を行いホームページに掲載している。改善が必要な事項については適宜改善をおこなっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日のミーティングで各々の意見を求める他、日々の業務内で意見を聞き改善をおこなっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	現在、第三者評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9		法人内に研修委員を設け、定期的に内部研修をおこない、各事業所で伝達・振り返りを実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		法人ホームページにて掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		面談後の会議にてアセスメントを行い、ニーズを客観的に把握し、サービス計画書の作成をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		必ず全職員が共通理解ができるよう検討会を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画作成時、作成後に必ず全職員に内容を共有し、計画に沿った支援を行えるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		法人内で標準化されたツールを使用し、定期的に確認を行うようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		「本人支援」を中心として計画作成をしており、状況により「家族支援」「移行支援」「地域支援」等を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		チームを作り利用児童状況を考慮しながら作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		様々な方面から活動プログラムを考え、季節ごとのイベントを立案している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別活動と集団活動を組み合わせての計画を作成・支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日ミーティングを行い、内容の確認や注意事項などを確認してから業務開始している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		必ず終了時にミーティングを行い、気付きや注意すべき点などを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日必ず行動観察記録を付け、支援の検証・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		6か月毎にモニタリングを行い、状況の変化等がある場合は随時計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9		組み合わせをしながら、適宜活動を広げて支援をおこなっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		様々な場面で本人の自己決定に基づき支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		協力医療機関は済生会とし、その他に市（福祉課）と各学校と連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者並びに連絡協議会を通じて情報共有している。また、トラブル発生時などはその都度学校側から報告を貰っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		直接利用前の園と連絡を取る事はあまりないが、担当の相談事業所・保護者から細かく情報共有をしてもらっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		直接こちらから情報共有として連絡を取る事は少ないが、相談事業所や保護者を通して情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		連絡協議会を通じて機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		外出の一環で児童館へ行ったり、イベントにお世話になっている事業所を招待して交流することがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		連絡協議会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		ご利用時には必ず状況報告を行い共有するようにしている。また、必要に応じて課題についての支援を提案している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		市からの研修等情報提供を随時行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		利用契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者から聞き取りを行い、こどもの最善の利益が図られるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		支援計画書を確認しながら説明・同意を得るように時間を設けている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		適宜助言や面談を行うようにしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9	特に希望がないため現在おこなっていない。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		必要な措置を迅速に行い、場合によっては周知するようにしている。法人内では苦情の共有をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月必ずお知らせで活動内容を報告している。またHPやSNSの活用し情報を共有している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		他者が安易に見られないよう、書庫には鍵をつけ、データは管理者が管理をして漏洩がないように留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		丁寧な説明、言語以外のコミュニケーションが図れるよう配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		行事への招待はないが、買い物に行ったり挨拶をしたりコミュニケーションを測るようにしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		利用契約時にマニュアル策定の説明をしている。また、訓練に関しては適宜行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPを策定し、適宜必要な訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		ご利用契約前の見学時に状況の確認を必ず行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		これまで指示書を頂くほどの重症なアレルギー児童はいないが、ご利用契約前の見学時に状況確認を必ず行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画の策定をし、適宜訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		ご利用契約時に災害時へ避難場所などを伝えるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		書類作成をし、その後検討会を行うようにしている。また、法人内での共有をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的に研修をおこなっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		マニュアル作成をし、手順を明確にしている。これまで特に必要な児童がないため同意書は実際には取っていない。		